

地域資源（エゾシカ）の有効活用

- ◆振興山村名：白糠村
- ◆事業実施主体名：白糠町
- ◆事業実施期間：H27～H29
- ◆交付決定額：28,610千円



◎主な事業内容と効果

エゾシカによる農作物や林業等の食害が甚大なことから、毎年3,200頭以上を有害捕獲。多くを食肉として加工し、東京都内のレストランを中心に販売しており、有望な地域資源として活用しつつあるが、安定的・効率的な捕獲体制が整っておらず、有効活用するための商品開発にも至っていなかった。

そこで、安定的・効率的な捕獲体制の構築に向け、エゾシカの行動範囲を的確に把握するための移動データの分析を行うとともに、有効活用するための商品開発や販売促進に向けた新たな取り組みを行った。

これにより、エゾシカの有害駆除が促進され、適正な個体数管理につながるとともに安定的なシビエ肉供給が可能となった。また、エゾシカを有効活用した商品開発等により雇用の創出や所得の向上など町の振興、活性化に結びつくことができた。

◎目標値の設定

- ①1企業当たりの所得増額 ～ 2年目（50万円）、3年目（50万円）
- ②新規雇用者数 ～ 2年目（1名）、3年目（1名）

◎事業のココがポイント

経済的な被害をもたらす有害鳥獣を、転じて有望な地域資源として利用し、過疎地域の悩みである雇用や所得向上の問題解決の糸口としているところ。

◎事業実施において苦慮したこと

行動分析等のために行った生体捕獲は難易度が高く、気象条件などに大きく左右される上、確保した個体が事故などにより喪失したためデータ収集に苦慮した。販路拡大や新商品開発はノウハウが不足していたため、事業の展開に苦慮した。